

<発熱は体の正常な反応です！>

子どもの発熱の原因の多くは、ウイルスや細菌が体に侵入する感染症です。普通のかぜをはじめ、インフルエンザ、RSウイルス感染症など、子どもがかかりやすい感染症がたくさんあります。ウイルスや細菌が体内に入ると、じわじわと増える潜伏期間を経て大増殖します。このとき、乳幼児の体は体温を上げて、熱によって病原体の力を弱めるとともに、免疫をつくって体を守ろうとします。つまり、発熱は正常な体の防御反応ともいえます。

熱があっても重大な病気とは限りませんので、脱水症に注意しながら、快適に過ごせるようにケアしてあげてください。

- 熱の出始めは手足が冷たい時は、温めます。
- 気持ちよさそうなら、冷やしてあげましょう。
- 水分補給をこまめにしましょう。

